

電気電子システム工学科〔2026年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

- (1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
- (2) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
- (3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕
- (4) 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕
- (5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
- (6) 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕
- ◆注:「(3)」を明細化したものが、各学科のDPとなる
- (A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕
- (B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。〔知識・理解・論理的思考力〕
- (C) 理論的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との議論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。〔コミュニケーション能力〕
- (D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学修経験に基づいて自主継続的に学修することができる。〔継続学修〕
- (E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。〔技術者倫理〕

〈DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△〉

分野	分野目標	授業科目名	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP5)	DP6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△						
		文章表現基礎	2	○	○		◎								
		哲学	2	○	◎		△	△	△						
		倫理学	2	○	◎		△	△	△						
		美術史	2	○	◎		△	△	△						
		文学	2	○	◎		△	△	△						
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△						
		法学(日本国憲法)	2	○	◎		△	△	△						
		経済学	2	○	◎		△	△	△						
		歴史学	2	○	◎		△	△	△						
		心理学	2	○	◎		△	△	△						
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△						
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△						
		日本の文化と社会 I	2	○	◎		△	△	△						
		日本の文化と社会 II	2	○	◎		△	△	△						
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎			○					
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎			○					
		オーラル・コミュニケーション I a	1	△	○		◎			○					
		オーラル・コミュニケーション I b	1	△	○		◎			○					
		オーラル・コミュニケーション II a	1	△	○		◎			○					
		オーラル・コミュニケーション II b	1	△	○		◎			○					
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎			○					
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎			○					
		キャリア・イングリッシュ I a	1	△	○		◎			○					
		キャリア・イングリッシュ I b	1	△	○		◎			○					
		キャリア・イングリッシュ II a	1	△	○		◎			○					
		キャリア・イングリッシュ II b	1	△	○		◎			○					
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎			○					
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎			○					
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎			○					
中国語と現代中国事情	1	△	○		◎			○							
海外語学研修	2	△	○		◎			○							
日本語 I	2	△	○		◎			○							
日本語 II	2	△	○		◎			○							
健康体育 I	1	△	○		◎	○	△								
健康体育 II	1	△	○		◎	○	△								
生涯スポーツ I	1	△	○		◎	○	△								
生涯スポーツ II	1	△	○		◎	○	△								

分野	分野目標	授業科目名	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP5)	DP6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	
電気電子基礎	電気回路および電磁気学の基本式を理解し、数式を用いて表現でき、さまざまな各種計測技術を駆使して電気・電子工学における諸問題を克服できる力を身につけている。	電気電子システム総論	■ 2	◎		◎	◎	○	○	◎	○		○		
		電磁気学Ⅰ	● 2	○	◎	◎	○			◎	○	○	○		
		電磁気学Ⅱ	● 2	○	◎	◎	○			◎	○	○	○		
		電磁気学Ⅲ	■ 2	◎	○	○				◎	○		○		
		電磁界理論	2			○				◎	○				
		電気数学	■ 2	◎	○	◎				◎	○		○		
		基礎電気計測	■ 2	○	◎	◎				◎				○	
		計算機プログラミング	■ 2	◎	○	◎		◎		◎	○		○	○	
		技術者倫理	2	◎			◎	○	◎					○	◎
		先端研究概論	2	◎	○	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎	○	
工学研究基礎	2	◎	○	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎	○			
実験・演習・設計	問題の提起、解決法の探求、実験的検証に至るまでの方法論を提案でき、それを新たな技術の開発へと展開できる能力を身につけている。	電気電子システム実験a	● 3	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	
		電気電子システム実験b	● 3	◎	○	○	◎	○		○	◎	◎	○	○	
		電気電子システム実験c	● 3	◎	○	○	◎	○		○	◎	◎	○	○	
		電機設計/CAD製図	2	◎	○	◎	○	○		◎	◎	○		◎	
電気電子回路	諸定理を用いて電気回路の回路計算ができ、アナログ回路からデジタル回路に至るまでの各種電子回路の計算ができる能力を身につけている。	電気回路Ⅰ	● 2	○	◎	◎				◎	◎		○		
		電気回路Ⅱ	● 2	○	◎	◎				◎	◎		○		
		電気回路Ⅲ	■ 2	○	○	◎				◎	◎		○		
		電気回路Ⅳ	■ 2	○	○	◎				◎	◎		○	○	
		電子回路工学Ⅰ	■ 2	○	○	◎				◎	◎		○	○	
		電子回路工学Ⅱ	■ 2	○	○	◎				◎	◎		○	○	
		アナログ電子回路	2			◎				○	○				
デジタル電子回路	■ 2	○	○	◎				◎	○		◎	○			
材料・物性・デバイス	電子・光デバイスの動作原理や理論を理解し、これを作製したり特性の計測などに応用する能力を身につけている。	電気電子材料	■ 2		○	◎				◎	○				
		電子デバイス工学	2	◎	○	◎				◎	○				
		電子物性論	■ 2		○	○				○	○				
		LSI工学	2	○		○				○	○				
		センサ工学	2	◎	○	○				◎	○				
		プラズマエレクトロニクス	2	◎	◎	○			○	◎	◎	○	○	○	
		オプトエレクトロニクス	2	◎	○	○				◎	◎		○	○	
エネルギー・電気機器	電気機器の構造や動作原理を理解し、発電・送配電ならびにエネルギー変換の幅広い分野において電気を活用できる能力を身につけている。	電力システムⅠ	■ 2	◎	○	◎			○	◎	◎	○	○	○	
		電力システムⅡ	2	◎	○	◎			○	◎	◎	○	○	○	
		エネルギー変換工学	2	◎	○	○				◎	◎	○			
		高電圧・パルスパワー工学	2	◎	○	○				◎	◎				
		電気法規および施設管理	2	◎	○	○				◎	◎	○			
		電機システムⅠ	■ 2	◎	○	◎				◎	◎	○	○		
		電機システムⅡ	2	◎	○	◎				◎	◎	○	○	○	
		パワーエレクトロニクス	2	◎	◎	○	○		○	◎	◎	○	○	○	
		電気応用	2	◎	○	○				◎	◎				
システム科学・通信	ソフトウェア・ハードウェアの基礎を理解でき、コンピュータシステムや通信システムの専門基礎のほか、制御工学を組み合わせて多面的に活用できる力を身につけている。	情報通信工学	2			○				○	○				
		ネットワーク工学	2	○	○	◎				○	◎		○		
		アンテナ・伝送工学	2	◎	○	○				◎	◎	○			
		電波・通信法規	2	◎	○	○				◎	◎	○			
		システム工学	■ 2	◎	○	○				◎	◎	○			
		計算機ハードウェア	2	◎	○	○				◎	◎	○			
		計算機ソフトウェア	2	○	○	◎				○	◎		○		
		制御工学Ⅰ	■ 2	○	○	◎				◎	○				
		制御工学Ⅱ	2	○	○	◎				◎					
		ロボット工学	2	◎	◎	◎		○		○	○			◎	
卒業研究	卒業研究	(4)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

(注1) ●:必修科目、■:選択必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目)

(注2) 背景色が黄色の授業科目は主要授業科目であることを表す。

(※) 本学では、卒業研究に単位は設定しておらず、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究がDP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス上では卒業研究を4単位と仮定している。